【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【公開番号】特開2012-53197(P2012-53197A)
【公開日】平成24年3月15日(2012.3.15)
【年通号数】公開・登録公報2012-011
【出願番号】特願2010-194626(P2010-194626)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/17　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　35/08　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　5/00　Ｇ
Ｇ０３Ｂ　17/17
Ｇ０３Ｂ　35/08
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月8日(2013.8.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
以下、防振部２０Ａを例に説明するが、防振部２０Ｂにおいても同様である。
レンズ装置に電源が投入されると、ステップＳ５１０に進み、アナログスイッチ４００ＡをＯＦＦし、駆動部１５０Ａとモータ１６０Ａとの接続を切断し、モータフリーの状態にする。次に、ステップＳ５２０では、モータが接続状態からモータフリーの状態になったことにより、像ぶれ補正レンズ１３０Ａが変位するか否かを判断する。像ぶれ補正レンズ１３０Ａが変位すれば、ステップＳ２３０に進み水平状態と判別し、像ぶれ補正レンズ１３０Ａが変位しなければ、ステップＳ２４０に進み鉛直状態と判別する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被写体からの光束を透過光と反射光に分割する光路分割素子と、
前記光路分割素子で分割された２つの光束のそれぞれが入射する第１のレンズ装置及び第２のレンズ装置と、
を含む撮影システムであって、
該第１及び第２のレンズ装置のそれぞれは、
被写体像を光軸と垂直な方向に移動させ、像ぶれを低減する像ぶれ低減機構と、

該レンズ装置の振動を検出する振動検出手段と、
該像ぶれ低減機構を駆動するための指令信号を生成する指令信号生成手段と、
該指令信号に基づいて、該像ぶれ低減機構を駆動する駆動手段と、
前記防振検出手段により生成された防振情報を他方の該レンズ装置と送受信する通信手段と、
を有し、
該第２のレンズ装置の該指令信号生成手段は、該通信手段によって取得した該第１のレンズ装置からの防振情報に基づいて指令信号を生成する、
ことを特徴とする撮影システム。
【請求項２】
前記第１及び第２のレンズ装置それぞれの前記振動検出手段は、光軸に垂直で互いに垂直な二つの方向の振動を検出し、該二つの方向の内の一つの方向は、該第１のレンズ装置の光軸と前記第２のレンズ装置の光軸とに対して垂直な方向である第１の方向であり、
該第１のレンズ装置の前記指令信号生成手段は、該第１の方向の振動に対しては、該振動検出手段から得た振動信号と前記通信手段によって取得した該第２のレンズ装置からの防振情報とに基づいて指令信号を生成し、該第１の方向と垂直な方向である第２の方向の振動に対しては、該第１のレンズ装置の該振動検出手段によって得た振動信号に基づいて指令信号を生成し、
前記第２のレンズ装置の前記指令信号生成手段は、該第１の方向の振動及び該第１の方向に垂直な方向である第３の方向の振動に関して、該第２のレンズ装置の該振動検出手段から得た振動信号と前記通信手段によって得た該第１のレンズ装置からの防振情報とに基づいて指令信号を生成する、
ことを特徴とする請求項１に記載の撮影システム。
【請求項３】
前記撮影システムは、前記第１のレンズ装置は光軸の仰角の絶対値が４５度未満であり、前記第２のレンズ装置は光軸の仰角の絶対値が４５度より大きく、
前記第１及び第２のレンズ装置のそれぞれは、
光軸方向に可動な可動光学部材を有し、
該可動光学部材を駆動する際の作動電流値の絶対値、往復駆動する際の作動電流値の絶対値の往復差、または、駆動速度のいずれかに基づいて、第１のレンズ装置として設置されているか第２のレンズ装置として設置されているかを判別する設置方向判別手段を有する、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の撮影システム。
【請求項４】
前記撮影システムは、前記第１のレンズ装置は光軸の仰角の絶対値が４５度未満であり、前記第２のレンズ装置は光軸の仰角の絶対値が４５度より大きく、
前記第１及び第２のレンズ装置のそれぞれは、
加速度センサを有し、
該加速度センサの出力に基づいて、第１のレンズ装置として設置されているか第２のレンズ装置として設置されているかを判別する、設置方向判別手段を有する、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の撮影システム。
【請求項５】
前記撮影システムは、前記第１のレンズ装置は光軸が水平方向であり、前記第２のレンズ装置は光軸が鉛直方向となるように設置され、
前記像ぶれ低減機構は、前記光軸と垂直な方向に移動可能な光学素子を含んでおり、
前記第１及び第２のレンズ装置のそれぞれは、
前記光軸方向に可動な可動光学部材を有し、
前記光学素子、もしくは前記可動光学部材を駆動させる前記駆動手段の制御を停止する駆動制御停止手段を有し、
該駆動制御停止手段が制御を停止した際の、前記光学素子、もしくは該可動光学部材

の変位に基づいて、第１のレンズ装置として設置されているか第２のレンズ装置として設置されているかを判別する、設置方向判別手段を有する、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の撮影システム。
【請求項６】
前記第１及び第２のレンズ装置は同一の仕様を有するレンズ装置であって、それぞれは、設置方向を設定する設置方向設定手段を有し、該設置方向設定手段での設定に基づいて該レンズ装置が第１のレンズ装置として設置されているか第２のレンズ装置として設置されているかを判別する、ことを特徴とする請求項１又は２に記載の撮影システム。
【請求項７】
前記防振情報は、前記振動信号、前記指令信号、または、前記像ぶれ低減機構の位置信号である、ことを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項に記載の撮影システム。
【請求項８】
請求項１乃至７のいずれか１項に記載の撮影システムの第１のレンズ装置または第２のレンズ装置として使用されるレンズ装置。